

HB21151 海外プロジェクト概論(ロシア語圏)

1.0 単位, 1 - 3 年次, 春季休業中 集中

白山 利信, 山本 祐規子, 小林 佑介, 宗野 ふもと

授業概要

ロシア語圏諸国の医科大学や医療機関、研究機関等を訪問し、訪問先の言語・文化・社会・医療制度への理解を深め、将来のキャリア形成に役立てる。受講者には国内外での発表が課せられる。

備考

医学類生、看護学類生に限る。

3/8-3/17

詳細後日周知

対面

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

汎用コンピテンス「広い視野と国際性」及び専門コンピテンス「コミュニケーション」「未来開拓力」に関連する。

授業の到達目標(学修成果)

現地の言語・文化・社会・医療制度への理解を深め、日本や世界の医療制度が抱える課題を俯瞰的に捉える能力と国際的視野を涵養し、将来のキャリア形成に役立てることができるようになる。

キーワード

カザフスタン、ロシア語、カザフ語、医療視察、中央アジアの医療

授業計画

カザフスタンの学生とともに以下の社会課題について考える PBL 型の多文化共修活動として実施（研修内容は現時点での予定であり、今後変更となる可能性あり）：

- ・医療制度・政策の国際比較とヘルスガバナンスの多様性
- ・文化的・宗教的背景が医療に及ぼす影響
- ・都市と地方の医療格差および医療資源の地域間偏在
- ・医療現場における男女共同参画とワークライフバランス
- ・災害・感染症パンデミックにおける医療脆弱性と国際協調の必要性

主な研修先：アスフェンディヤロフ・カザフ国立医科大学、アルファラビ・カザフ国立大学（および同大学関係医療施設）、郊外の診療現場や薬局 等

日程、研究内容の詳細は履修者決定後に改めてご連絡します。

履修条件

募集人数を超過した場合は選考を行います。

成績評価方法

- ・ 事前研修の参加（危機管理、ロシア語、カザフ語）（20%）
- ・ 現地での討議発言状況（40%）
- ・ 提出レポートの内容（40%）

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

- ・ 「専門語学（ロシア語）HB37502」の履修
- ・ ロシア語の音声教材を活用した自主学習
- ・ カザフ語の教材を用いた自主学習

教材・参考文献・配付資料等

参考書

オフィスアワー等(連絡先含む)

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)